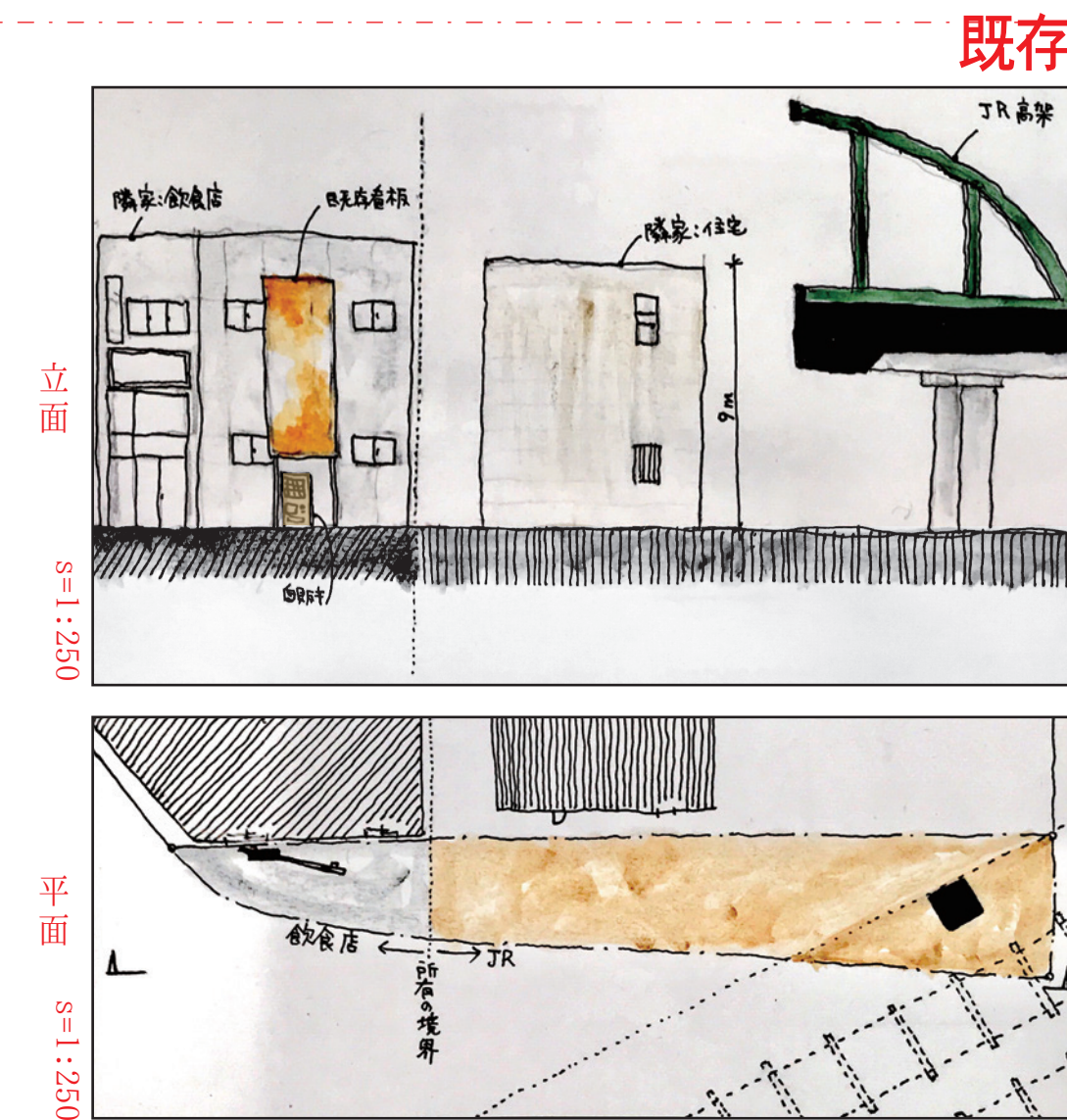


・FLOW 敷地の分類評価と建築工程 例

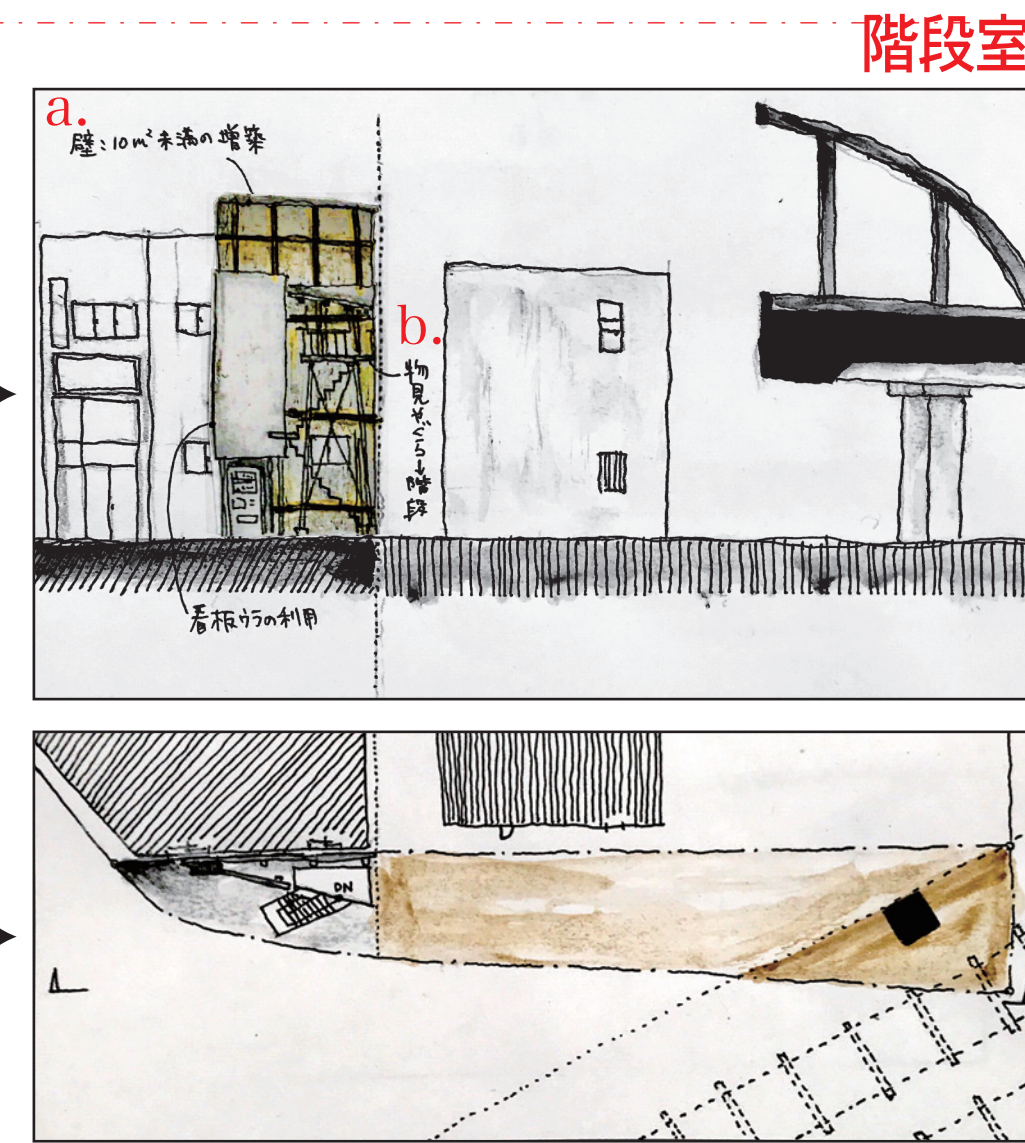
PHASE 01 余白の不動産化・分類

敷地分析

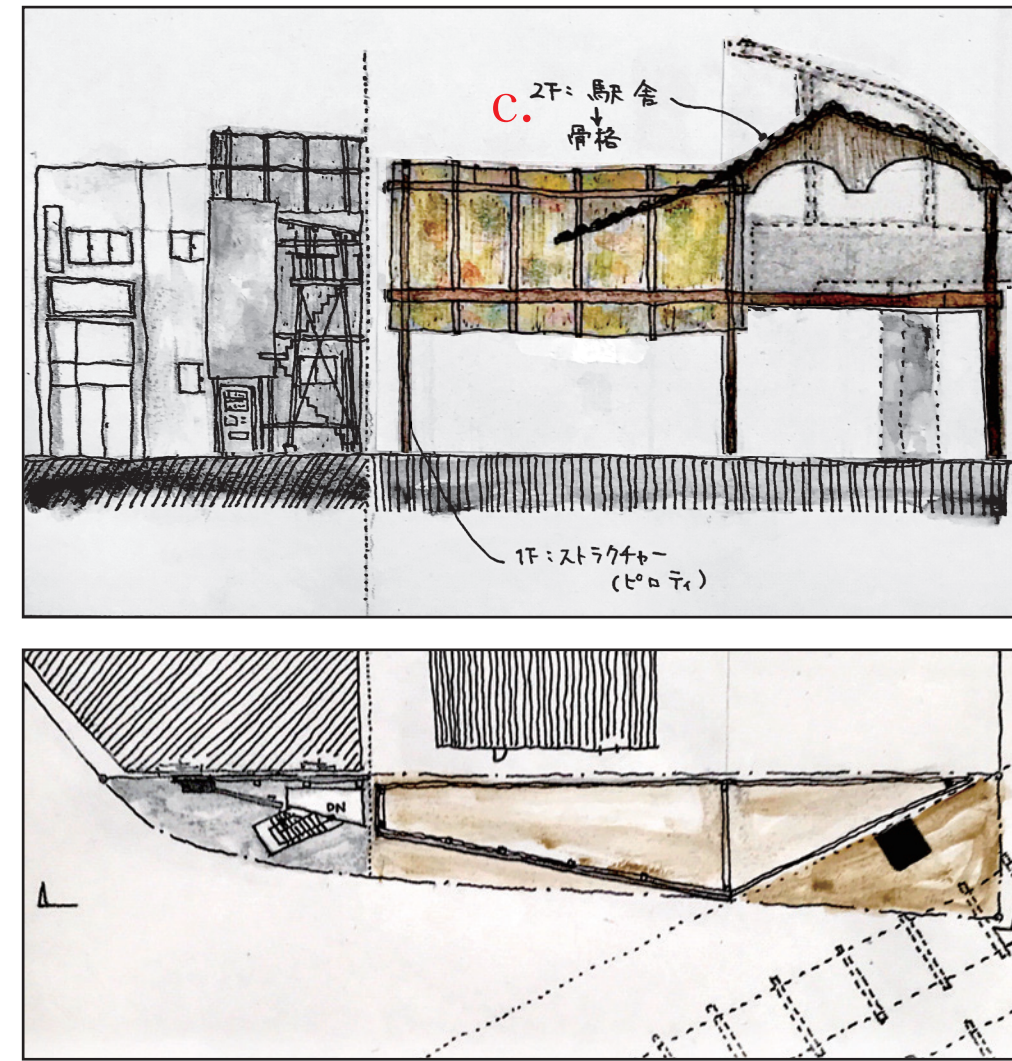


PHASE 02 法律の抜け穴・対策

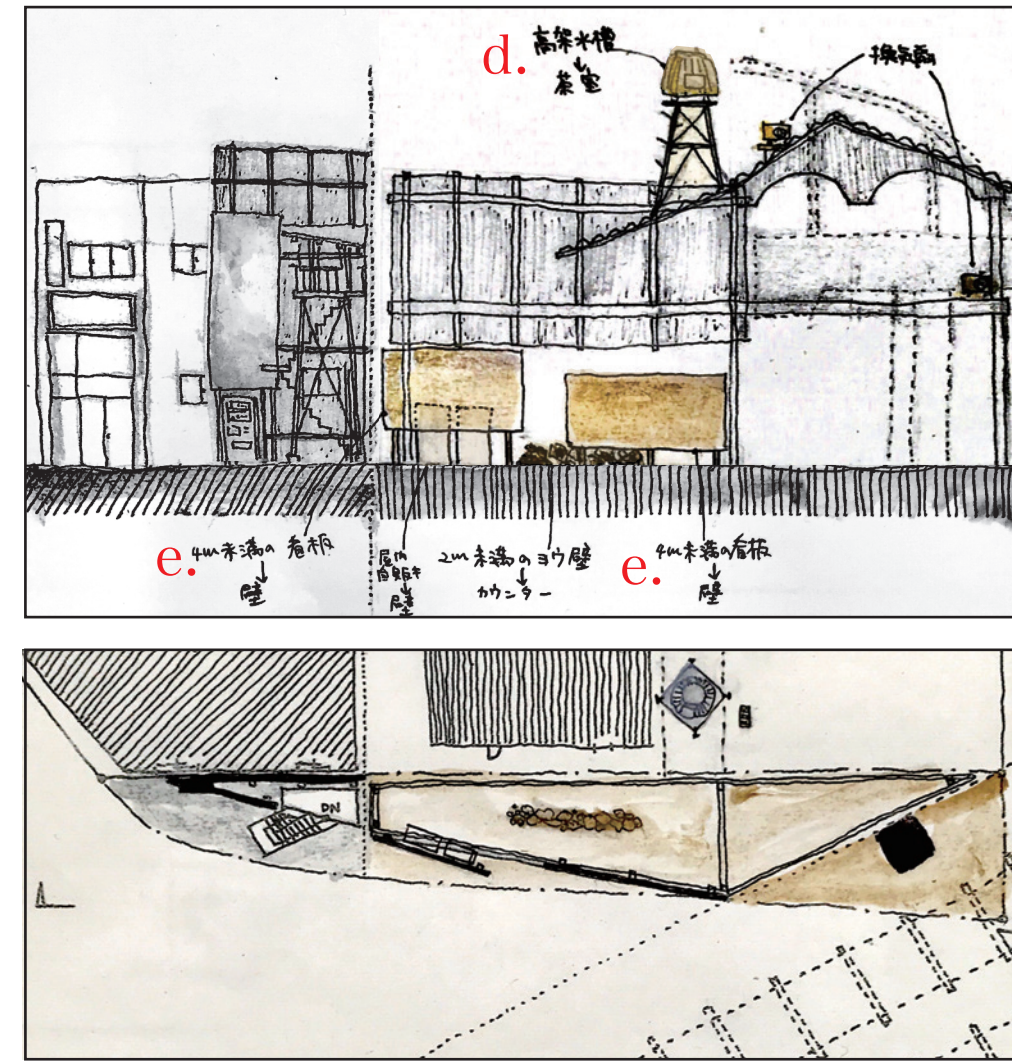
基本構成の設計



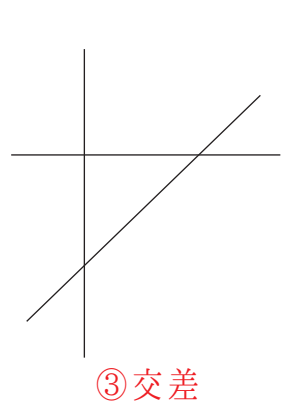
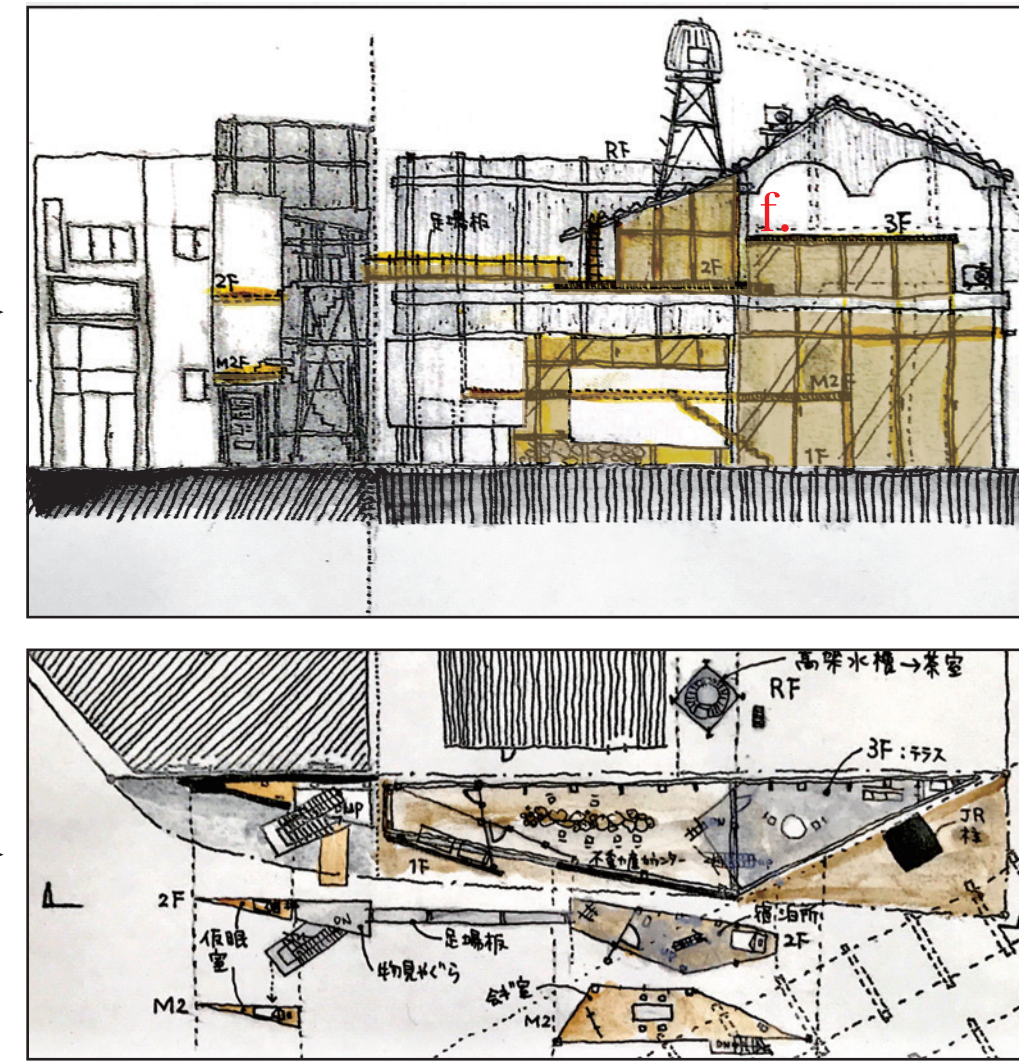
全体ストラクチャー



茶室・1F壁

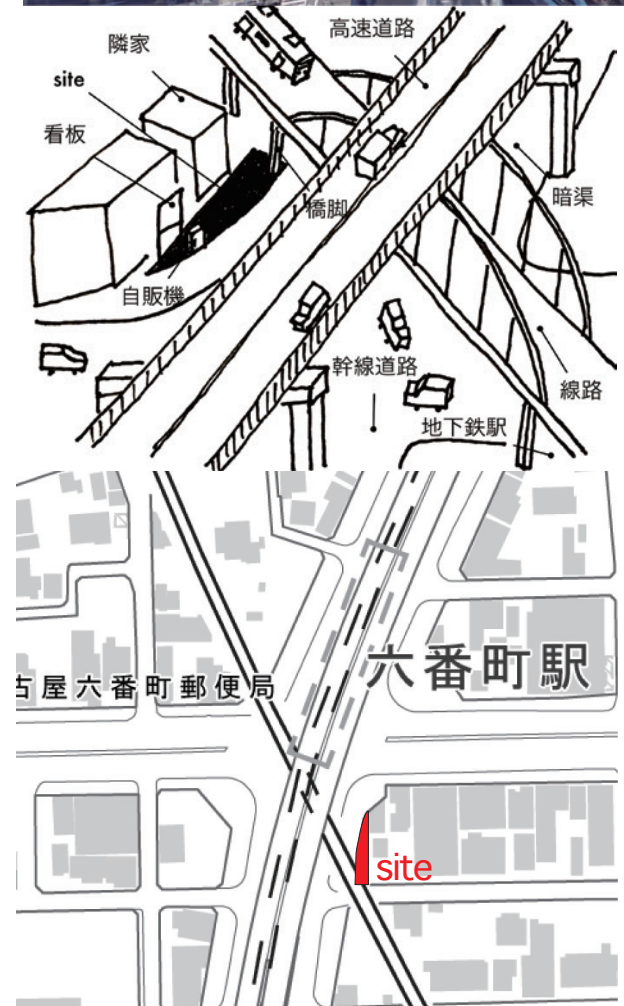


建具・スラブ

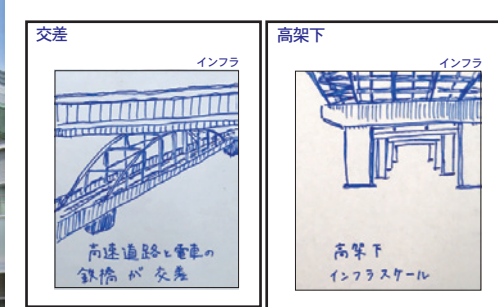


③ 交差

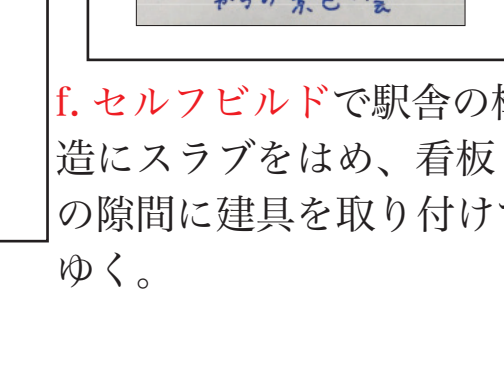
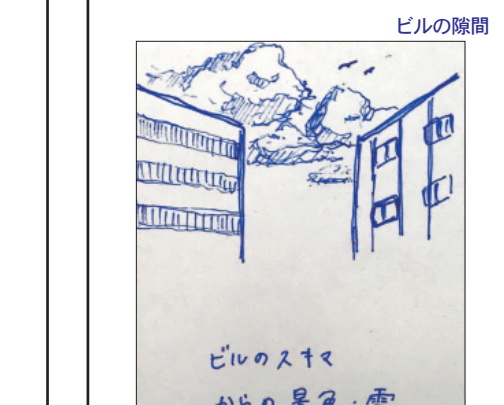
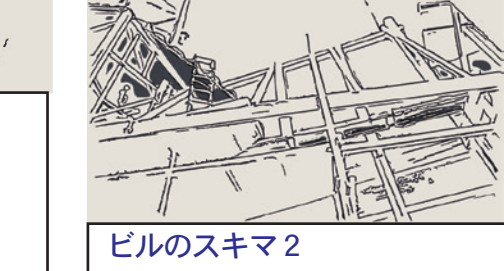
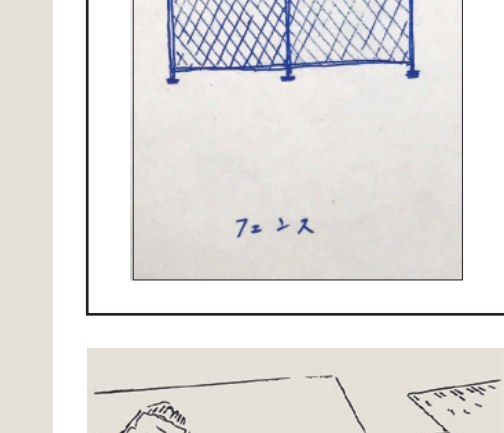
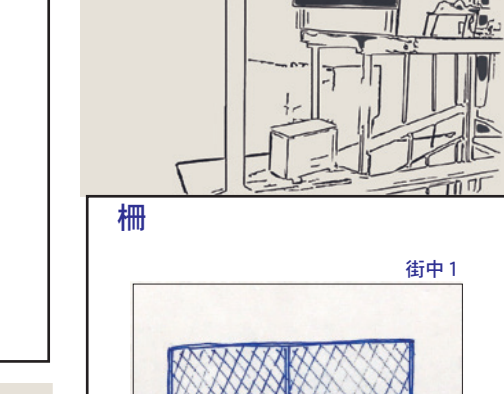
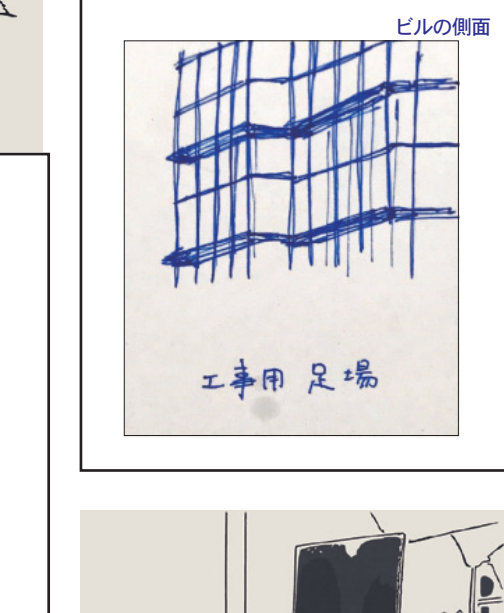
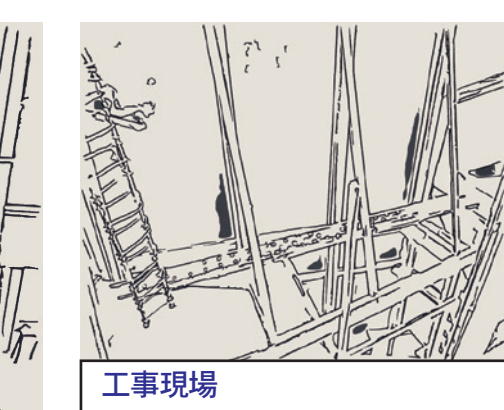
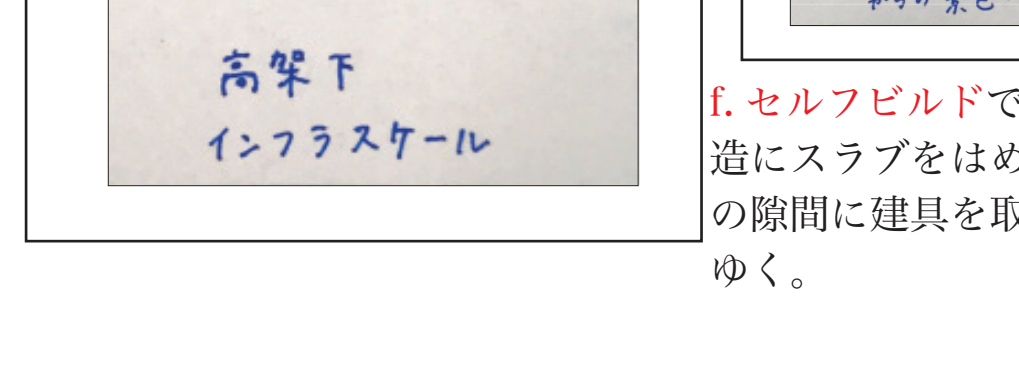
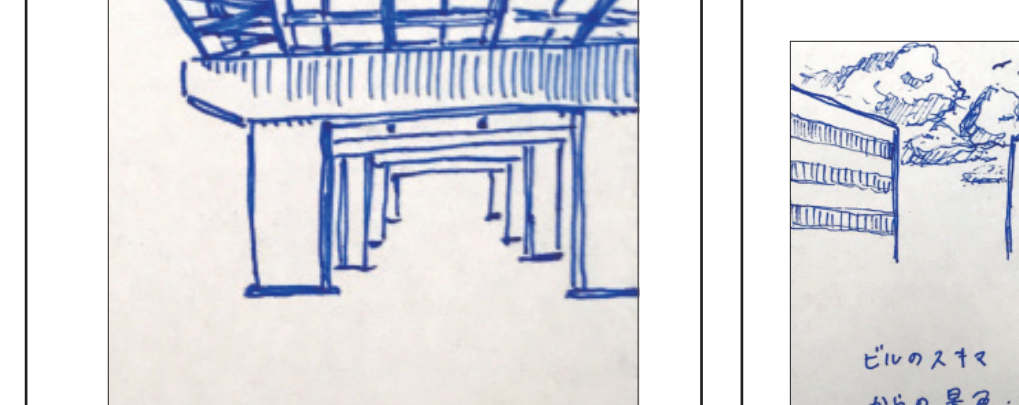
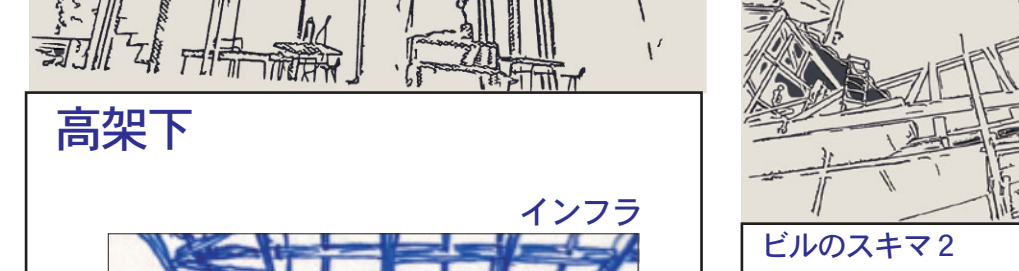
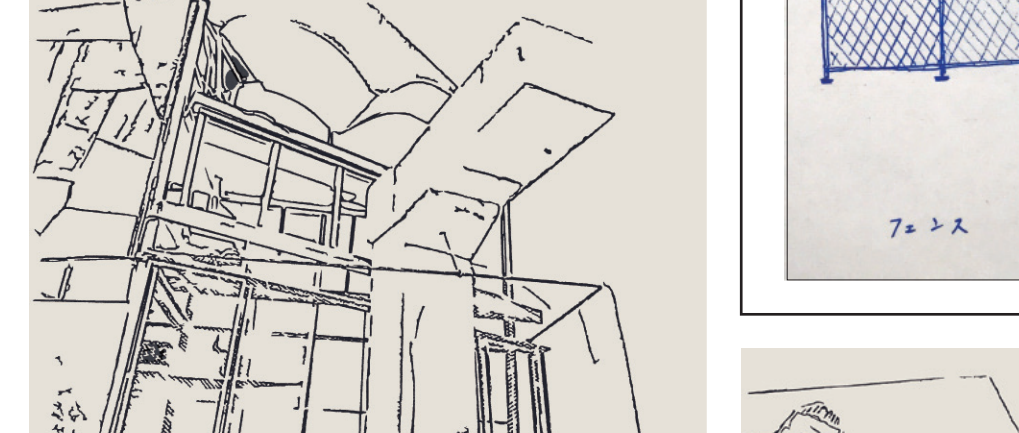
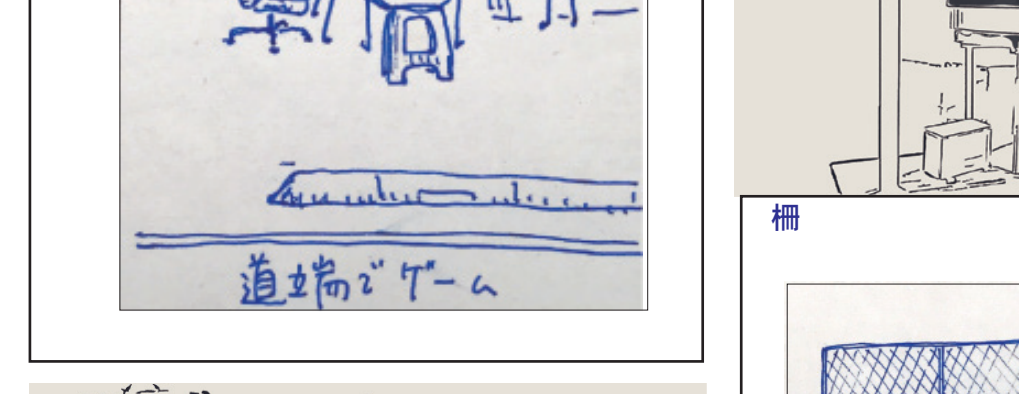
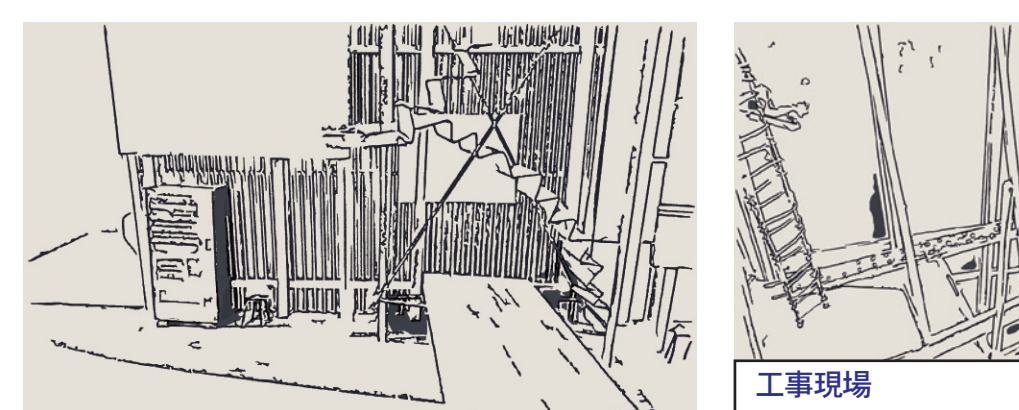
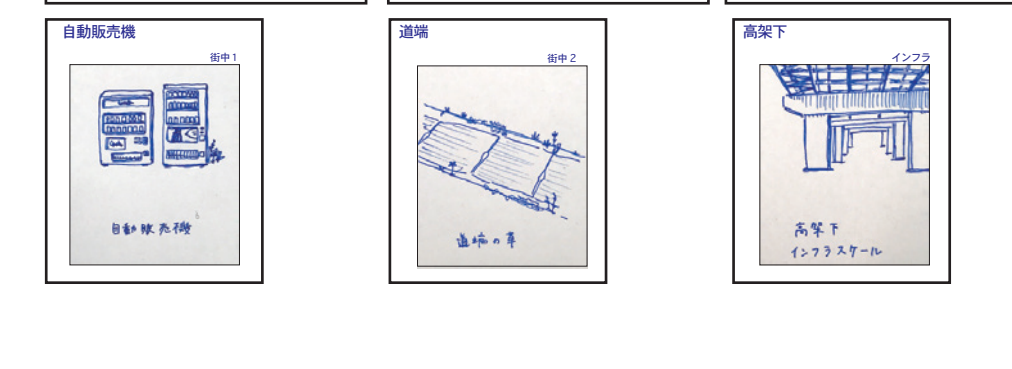
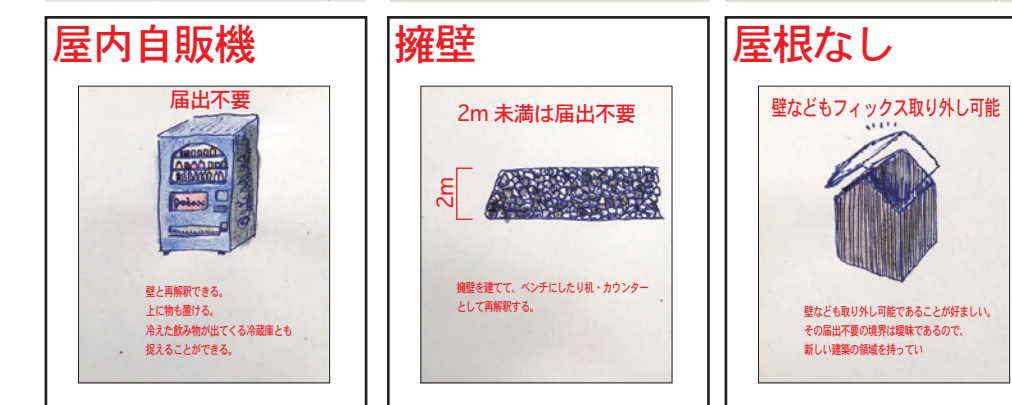
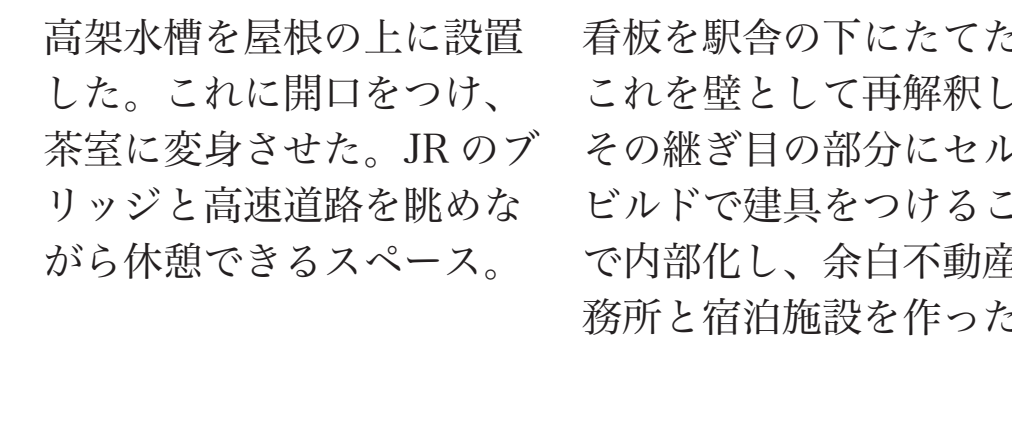
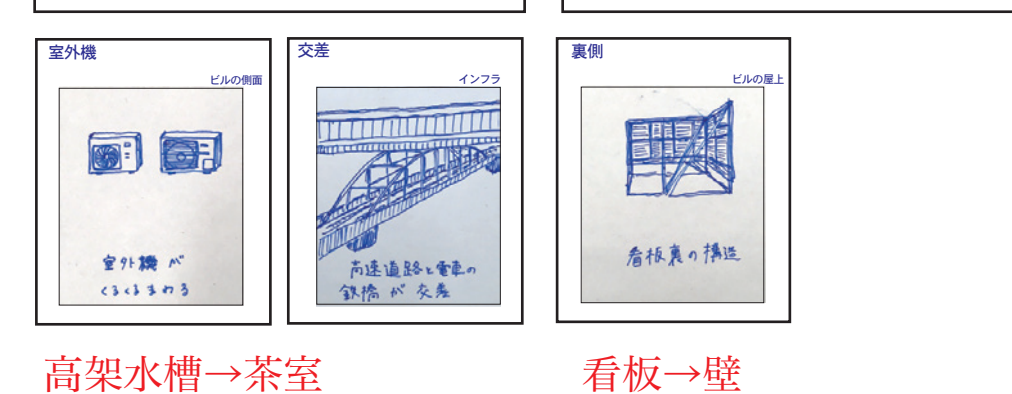
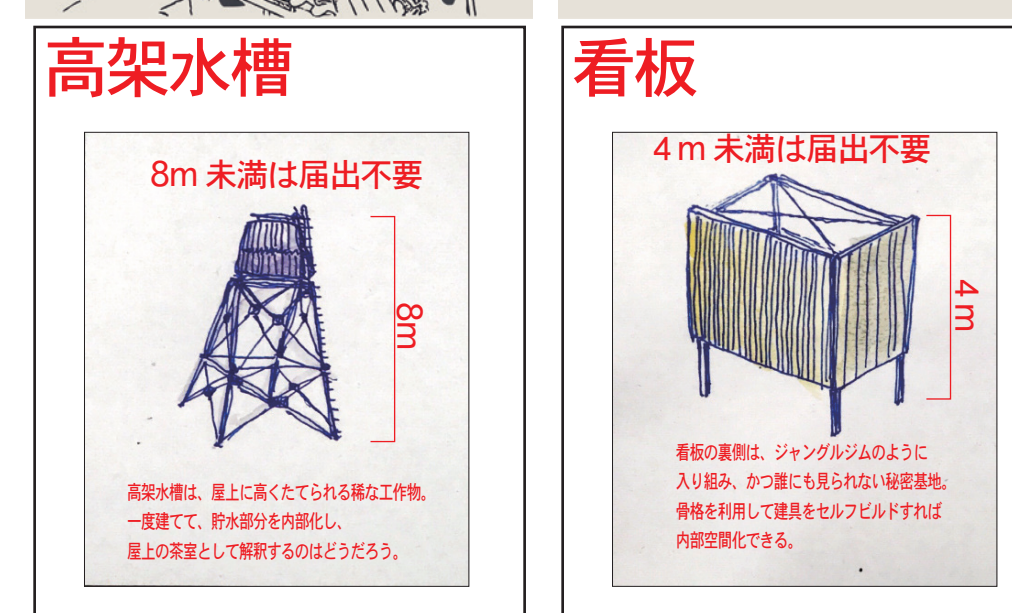
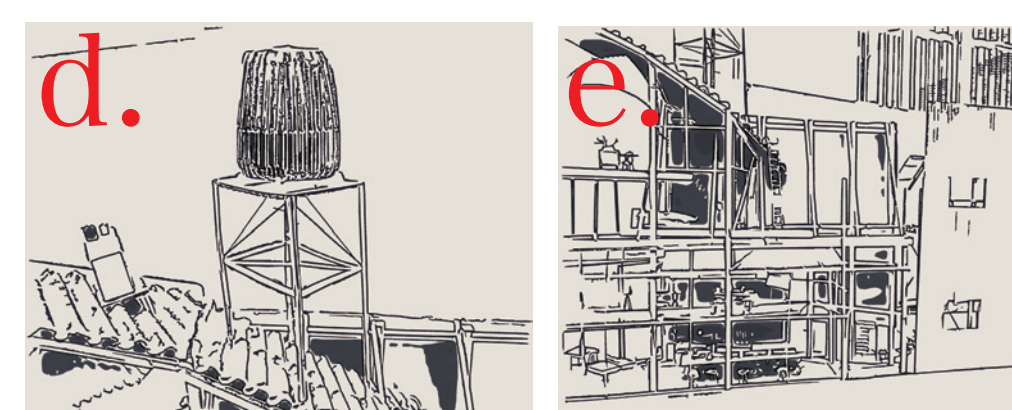
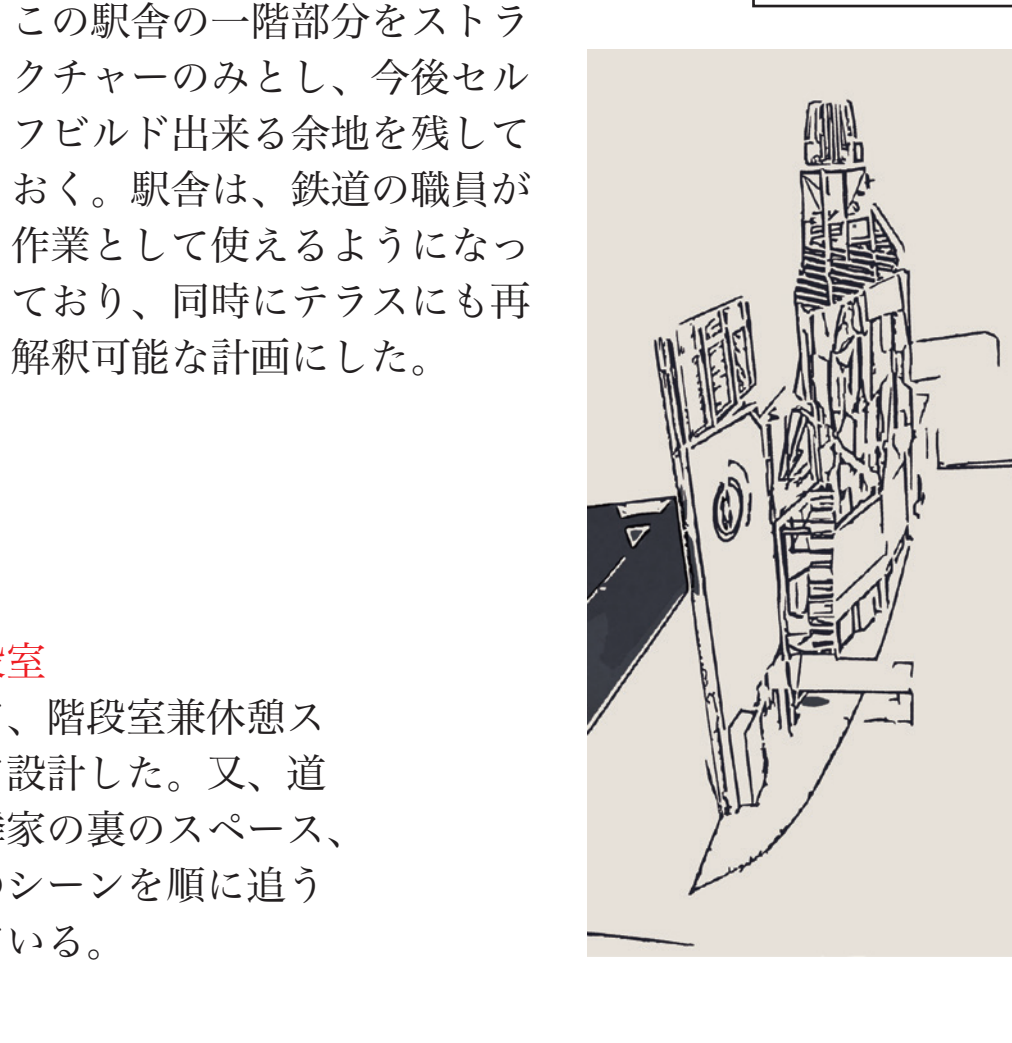
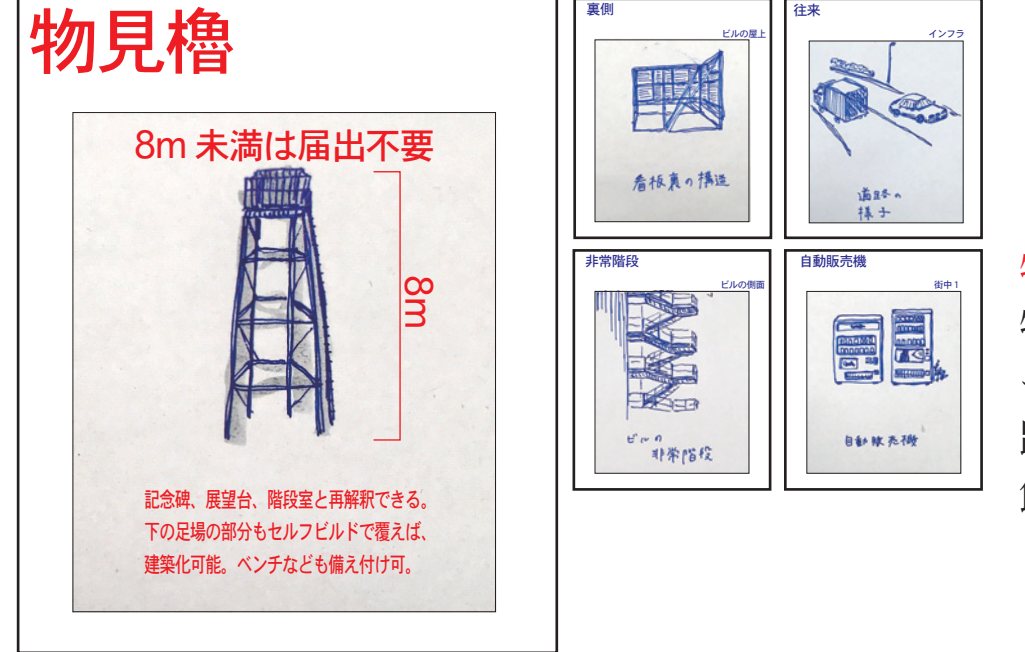
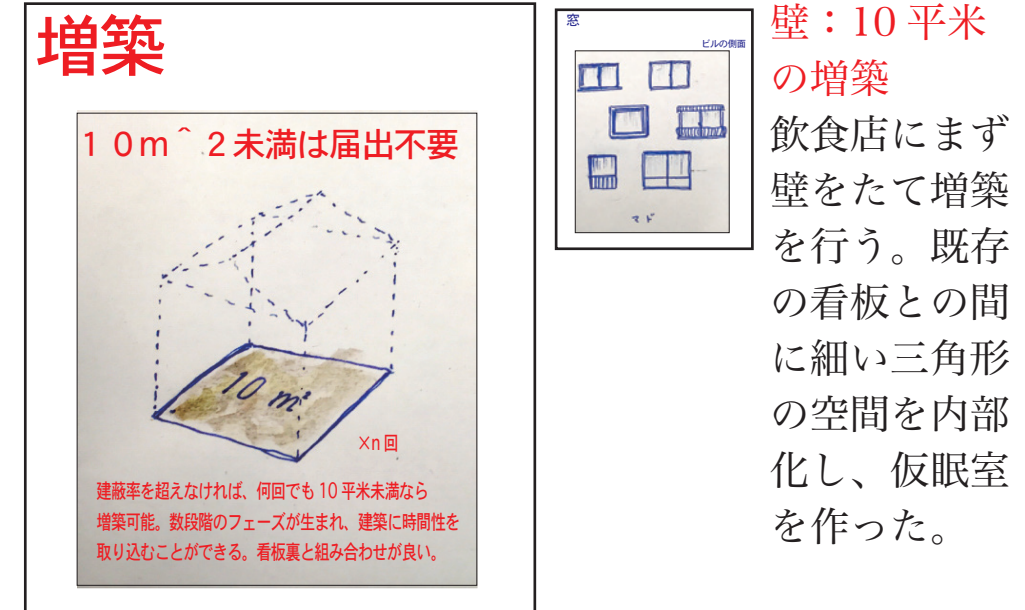
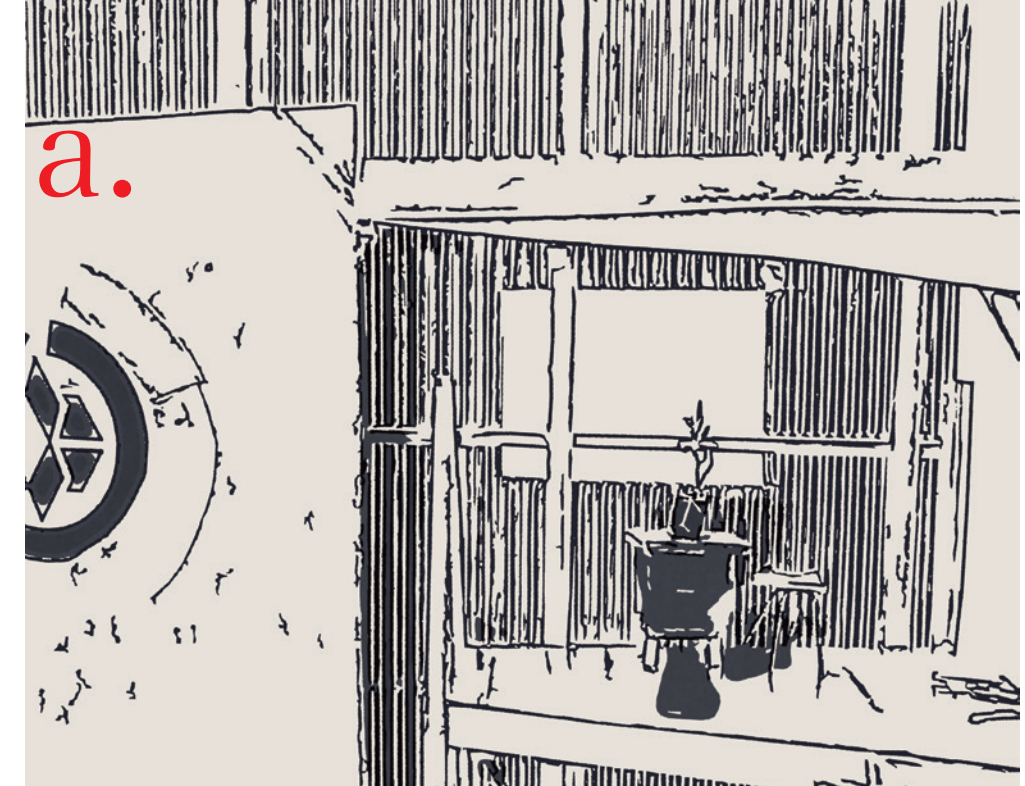
敷地は、暗渠を潰してできた地下鉄とJRと高速道路に挟まれた細長三角形の敷地。バグ(余白)の生成分析は、



又、敷地の所有が飲食店とJRに別れており、それを元にそれぞれの法律の抜け穴を使い計画を行う。



敷地からは、JRのブリッジと高速道路が交差しているのが見える。又、JRの柱脚が敷地内部に侵入している。



f. セルフビルドで駅舎の構造にスラブをはめ、看板との隙間に建具を取り付けてゆく。